

特定建築物工事完了届出書

（宛先）京都府知事	平成 28 年 9 月 27 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市左京区吉田本町36番地1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 国立大学法人京都大学 学長 山極 壽一

工 事 の 種 別		■ 新築 □ 増築
工 事 完 了 年 月 日		平成 28 年 9 月 27 日
特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 計 画 書 提 出 年 月 日		平成 27 年 4 月 15 日
特定建築物の概要	名 称	京都大学（木津川）農学研究科附属農場 本館
	所 在 地	京都府木津川市城山台四丁目2番1
府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 7.00 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 7.00 立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途	天井ルーバー、天井化粧梁
	府内産木材等の使用基準量	1.55 立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	7.00 立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	1,008.08 平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	4,434,944 メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他（ ）	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	4,434,944 メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置		概 要
■ 外壁、屋根又は床の断熱		屋根部 押出法ポリスチレンフォーム 厚さ50mm 外壁部 吹付け硬質ウレタンフォーム 厚さ50mm
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽		遮熱低放射複層ガラス（Low-Eペアガラスの採用）
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入		LED照明の採用
■ 環境への負荷が少ない材料の利用		型枠用ブロックやPC外壁パネル採用による南洋材型枠の削減
■ 節水型設備の設置		自動水栓、節水型大便器、自動洗浄小便器の採用
□ 雨水、雑排水等の利用		
□ 耐用年数が長い材料及び設備の利用		
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮		設備スペースの集約

■ 緑化の実施	実験実習用の緑地を整備
■ その他	自然採光システムの採用

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 この届出書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

- (1) 府内産木材等の使用量
- (2) 使用した木材等が府内産木材等であること。
- (3) 再生可能エネルギーを利用するために導入した設備の内容及びその設置場所
- (4) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第 22 条第 3 項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。